



西村証券

チーフストラテジスト
門司総一郎の

ウィークリーレポート

2023年
6月2日
発行

第180回

「欧米流より近江の知恵」

～三方よしも株価上昇要因～

初めに

日本経済新聞は6月1日付けの朝刊で「株の上昇率 日本首位」との記事を掲載しました。世界の主要な株価指数の5月の上昇率を比べると、日経平均は7%高で首位だったとのこと。日本株の上昇はまだまだ続きそうです。

ところで最近、この上昇について、例えば「三方よし」などにみられる、自分の利益だけではなく商売相手や地域や社会全体の利益を考える、といった日本の慣習そのものが株高要因になっているのではないかと、という指摘を受けました。良いことをすると株価が上がるわけですが、今回はこの指摘について考えてみます。

三方よしも追い風に

三方よしをご存じの方は多いと思います。近江商人の心得とされるもので、売り手よし、買い手よし、世間よしで三方よしとなります。これを企業理念として掲げている会社もあります。今回の金融危機で欧米では多くの金融機関が破綻することになりましたが、日本ではそうした事例はほとんど聞こえてきません。これは、日本では三方よしの理念が理解されていることが理由の一つではないかと思えます。対して欧米では、従来からウィナー・テイク・オールといわれ、勝者が全てを持っていく、という傾向があります。逆に、敗者は全てを失うわけです。

ウォーレン・バフェット氏

今年4月に「オマハの賢人」と呼ばれるウォーレン・バフェット氏が訪日しました。取引に対して誠実なバフェット氏の姿勢は三方よしにも通じるものと思えます。また、その時に商社株などに積極投資する考えを示しており、これが日本株の上昇につながったと考えています。今後もバフェット氏が商社株を含む日本株に投資する可能性はあると思えます。これも、日本株がまだまだ上昇すると考える理由です。

日本株優位はまだまだ続く

最後に、世界の株式市場の見通しについて簡単にコメントしておきます。米国は政府閉鎖こそ回避しましたが、景気の先行きには慎重な見方が多いようで、株式市場も頭の重い展開が続くと思えます。欧州では依然としてインフレが問題となっており、ECBは追加の利上げを余儀なくされています。このように考えて、日本株優位はまだまだ続くと思えます。



チーフストラテジスト
門司さんにきいてみよう!



西村証券株式会社 NISHIMURA SECURITIES Co., Ltd.
京都市下京区四条通高倉西入立売西町65番地(本社)
TEL:075-221-9390(本店営業部)

金融商品取引業者 近畿財務局長(金商)第26号
加入協会:日本証券業協会 主な事業:金融商品取引業
指定紛争解決機関:特定非営利活動法人 証券・金融商品あっせん相談センター

本書面は特定の金融商品の勧誘を目的として作成したのではなく、あくまで情報提供を目的とした書類です。書面上の株式市場見通し等は、本書面作成時の当社予想ですが、その後の市場動向・結果・影響等について当社が保証または責任を負うものではありません。また内容については予告なしに変更される場合もあります。本書面の著作権は当社に帰属します。当社の文章による承諾なしに、第三者への配布・コピー等のご遠慮ください。